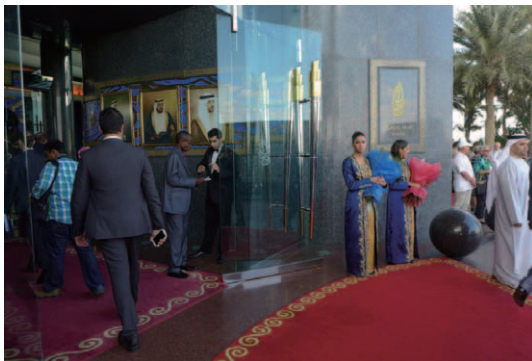


ブルジュ・アル・アラブ Burj Al Arab



「Burj Al Arab」の正面エントランス。専用の連絡橋でセキュリティーチェックを受けるため、宿泊客とレストラン予約客以外は入館できない



絢爛豪華なエントランスホール。この日は外国の要人を迎えるという事でスタッフが整列していた



純金の金箔で仕上げた太い柱が何本も立つアトリウムの客室廊下部分。デュプレックス・スタイルのため各フロアは2階分の高さがある

各階フロアには専任のバトラーが燕尾服のスタイルで待機している



筆者 小原康裕

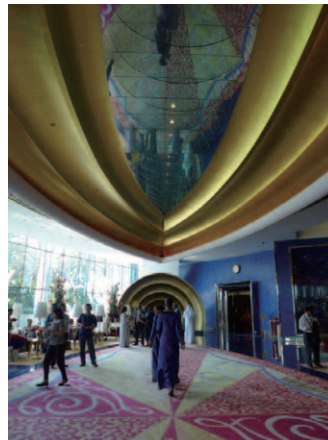
ホテルジャーナリスト。慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年Munich Re入社。85年築地原健株代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。
※現在、著者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。
www.jhrca.com/worldhotel

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

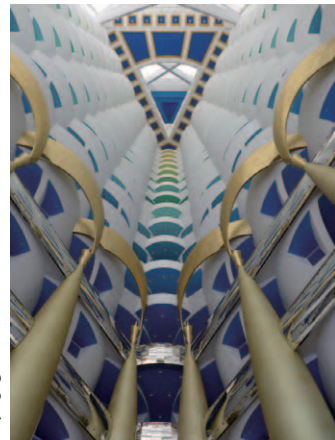
※本連載は毎月2・4週号掲載



洋上に浮かぶ「アラブの塔」「Burj Al Arab」の雄姿。エッフェル塔を上回る321mの高さがあり、アラブの伝統的な「ダウ船」の帆をイメージした外観である



純金の金箔と鏡が眩い天井。斬新かつ圧倒的デザイン性に目を奪われる



世界一の高さを誇るアトリウム。何本もの金箔の太い柱と波打つような純白のふくらみが壮麗だ



シェフが迎える地元アラブ料理の「Al Iwan」。階段状の噴水脇エスカレーターで上がったロビーフロアにある



海上200mの眺望を誇る「Al Muntaha」。建物本体から突き出た形状の“天空のレストラン”だ



専用エレベーターで降り、海底気分が味わえる「Al Mahara」。幻想的な雰囲気ファインダイニングである



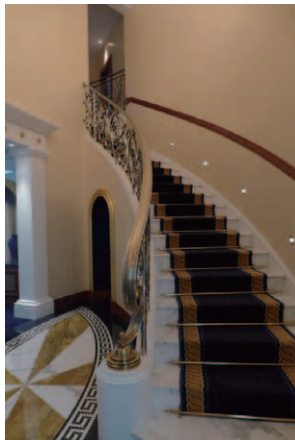
寿司やアジア系料理がカジュアル感覚で楽しめる日本料理の「Junsui」



ゴールドが煌めく豪華なマスター・ベッドルーム。このスイートは「Deluxe Two Bedroom Suite」で、実に335㎡の広大な室内面積を持つ。セカンド・ベッドルームはツイン・タイプの仕様である



セカンド・ベッドルーム側のゴージャスなバスルーム。主寝室と同じ広さでこちらはブルーの彩りだ



デュプレックス・スイートのエレガントな室内階段

ホテルの名称であるブルジュ・アル・アラブ「Burj Al Arab」(以下BAA)は“アラブの塔”という意味で、実にエッフェル塔を上回る321mの高さがあり、まさに洋上に浮かぶアラブ象徴の塔としての風格がある。BAAはジュメイラ・グループの旗艦ホテルとして、人工島の基礎建設に2年、ホテル建設に3年の計5年の歳月を費やして1999年12月にオープンした。アラブの伝統的な「ダウ船」の帆をイメージした外観で、海岸から280m離れた沖合に建てられた。202室ある客室はすべてデュプレックス・スイート(メゾネットスタイル)で構成されており、最低でも170㎡の広さを誇る。したがって客室階数はこの高さにも関わらず27階しかないという驚くべき構造になっている。

BAAには専用の連絡橋を渡って行くが、橋のもとでセキュリティチェックを受け、宿泊客とレストラン予約客以外は通行できない。館内に一步踏み入ると正面に大きな石造りの階段状の噴水があり両側にエスカレーターを設置している。ふと天井を見上げれば巨大なアトリウムに目を奪われる。高さ180mを誇る世界一の吹き抜けで、純金の金箔で仕上げた太い柱が何本も立ち、純白の波打つような一つ一つのふくらみが壮麗なアクセントになっている。各フロアには専任のバトラーがデスクで待機しており、チェックインも部屋でゆったりと済ます事ができる。筆者にアサインされた部屋は「Deluxe Two Bedroom Suite」で、335㎡の広大な室内面積を持つ。1階にオフィスなみの多目的デスクとバー・コーナー、意匠の違う2つのリビングルームがあり、2階にはキングのマスター・ベッドルームとツインのセカンド・ベッドルームを配置し、どちらも広大なバスルーム、ワードローブ等々必要なものはすべて備えている。また、アメニティーはエルメスで統一しており、香水などは市販と同じフルボトルで用意されている。

BAAには9か所の特色あるユニークなレストラン・バーが、舌の肥えた各国ゲストの要望に応じている。主なレストランは、海底気分が味わえるフォーマルな「Al Mahara」、海上200mの眺望を誇る「Al Muntaha」、地元アラビア料理の「Al Iwan」、そして日本料理店「Junsui」だ。ここでは、ぜひ“Culinary Flight”を試して頂きたい。“料理フライト”と訳され、各レストランを“はしご”して廻るものだ。ランチでは上記の4レストランの特別料理をゆったりと堪能し、各料理に合わせたソムリエ推薦のワインも加えたコースもある。そのほかゴージャスなスパ「Assawan Spa & Health Club」、ヘリコプターやロールスでの送迎などゲストへのホスピタリティーは事欠かない。2003年度版「Institutional Investor」誌のランキングでは、開業して間もないBAAがNo.1の座を獲得して世界の注目を集めた。

BAAは通称“7ツ星”ホテルとして広く世界に流通しているが、所轄官庁のドバイ政府観光・商務局による格付けでは「5ツ星」のカテゴリである。しかし一般の5ツ星ホテルの概念を遥かに超えた存在感は揺るぎのない事実であり、メディアとしてはもう少し星を加えたい衝動に駆られるのは理解できよう。ホテルは顧客に夢を提供する商売でもある。遠くアラブの地で砂漠の熱風に吹かれ、ペルシャ湾に浮かぶ蜃気楼を見たような気がした。